

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公開番号】特開2009-285249(P2009-285249A)

【公開日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2008-142001(P2008-142001)

【国際特許分類】

A 6 1 H 33/10 (2006.01)

A 6 1 H 33/02 (2006.01)

A 6 1 H 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 33/10 A

A 6 1 H 33/02 A

A 6 1 H 35/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月15日(2011.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

足裏を接触させて足を載置可能な足置き部と、炭酸ガス発生剤及びスチーム発生剤を収納可能である剤収納部と、下肢乃至足の甲を包囲して覆う空間を形成する下肢覆い部とを具備し、

前記下肢覆い部の下方に前記足置き部を配置し、該足置き部の下方に前記剤収納部を配置し、該足置き部における一対の足置き位置の間に炭酸ガス及びスチームの供給口を設け、

前記剤収納部内で炭酸ガス及びスチームを発生させたとき、該炭酸ガス及びスチームが前記足置き部の前記供給口から前記下肢覆い部内に供給されるようにした炭酸ガス発生装置。

【請求項2】

前記足置き部の前記供給口が筒状体によって囲繞されている請求項1記載の炭酸ガス発生装置。

【請求項3】

前記筒状体の上端を、前記足置き部上に載置された使用者の踝よりも上方に位置するよう^に設定した請求項2記載の炭酸ガス発生装置。

【請求項4】

前記剤収納部、前記足置き部及び前記下肢覆い部に亘り、前記下肢覆い部の上方部を除き密閉された連通空間が形成されており、前記剤収納部で発生する炭酸ガス及びスチームを該連通空間に供給させるようにした請求項1～3の何れかに記載の炭酸ガス発生装置。

【請求項5】

前記剤収納部は、上面に開口部を有する箱状体であり、前記足置き部は、該箱状体の周壁の上縁に載置される請求項1～4の何れかに記載の炭酸ガス発生装置。

【請求項6】

前記足置き部は、伝熱緩衝構造からなる請求項1～5の何れかに記載の炭酸ガス発生装

置。

【請求項 7】

足裏を接触させて足を載置可能な足置き部と、炭酸ガス発生剤及びスチーム発生剤を収納可能である剤収納部とを具備し、

前記足置き部の下方に前記剤収納部を配置し、該足置き部における一対の足置き位置の間に炭酸ガス及びスチームの供給口を設け、

前記剤収納部内で炭酸ガス及びスチームを発生させたとき、該炭酸ガス及びスチームが前記足置き部の前記供給口から前記剤収納部の外部に供給されるようにした炭酸ガス発生機構。